

【科学技術特別委員会】

(1) 審議概観

〔国政調査〕

11月9日、田中科学技術庁長官から科学技術振興のための諸施策について所信を聴取し、11月16日、動力炉・核燃料開発事業団理事井田勝久君の出席を求め、同所信並びに参考人に対する質疑を行った。

質疑の中では、技術試験衛星「きく6号」の経緯、原子力船「むつ」の今後の計画、大型放射光施設「Spring-8」の整備状況、地域特性に即した科学技術振興の方策、国際研究交流インバランス問題、科学技術系人材の確保対策、研究開発促進のための規制緩和の必要性、政府の研究開発投資の促進策、海洋調査研究の充実の必要性、動力炉・核燃料開発事業団のリサイクル機器試験施設計画、放射線によるがん発生等の影響、向井宇宙飛行士の行った実験の成果、科学技術分野における女性の活躍の現状、「対がん10カ年戦略」の現状、我が国の基礎研究強化の方策、地震予知への取組強化の必要性等が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成6年9月30日（金）（第1回）

特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成6年11月9日（水）（第2回）

科学技術振興のための諸施策に関する件について田中科学技術庁長官から所信を聴いた。

○平成6年11月16日（水）（第3回）

参考人の出席を求めることを決定した。

科学技術振興のための諸施策に関する件について田中科学技術庁長官、政府委員、科学技術庁当局及び参考人動力炉・核燃料開発事業団理事井田勝久君に対し質疑を行った。

○平成6年12月7日（水）（第4回）

請願第792号外7件を審査した。

科学技術振興対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

閉会中に委員派遣を行うことを決定した。